

令和6年度小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 日吉たには会	代表者	中村 泰三	法人・ 事業所 の特徴	法人としては、「利用者本位。誠実・貢献」を理念とし、ご利用者・ご家族が望まれるサービスが提供できるように多彩なサービス展開を行っています。 事業所の特徴としては、家庭的な雰囲気を大切にしながら、通い・泊り・訪問のサービスを顔なじみの職員が行う事で・ご利用者が安心してサービスを受けられ、可能な限り在宅生活を営めるよう支援しています。
事業所名	はぎの里 ふれあいホーム	管理者	川勝 知己		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	3人	0人	1人	1人	0人	2人	0人	8人

項 目	前回の改善計画（令和6年度）	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画（令和7年度）
A. 自己評価の確認	- 朝の時短ミーティングで、ご利用者の状態や留意点を確認し、職員間で共有する。 - ご利用者の残存機能を理解し、過剰な介助とならないよう、職員間で統一した対応をする。	- 朝の時短ミーティングや送迎時家族の方より、ご利用者の体調やご様子などお聞きし、情報共有する事ができた。 - ご利用者の思いを尊重し、対応する事はできているが、意欲を引き出すような新たな支援はできていない。	- 自己評価をすることで、反省したり新たな目標を立てられたりする機会になっていて毎年サービスが向上していると期待出来ると思いました。 - 良好です。 - 今年度にサテライトから単独の事業所に変わられたこともあり、管理者も自己評価に加わってはどうか。	- 朝の時短ミーティングで、ご利用者の健康状態や留意点を確認し、職員間で共有する。 - ご利用者の思いをくみ取り「～したい」の実現と安心した在宅生活が継続できるよう支援する。 - 次年度から管理者も自己評価に加わることにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	- 感染の流行時は、面会や来訪が制限されている状態ではありますが、事業所の清掃や消毒を行い、快適に過ごして頂ける空間作りに努める。 - 季節を感じて頂けるよう、事業所内を四季に応じたレイアウトを行い楽しんで頂く。	- コロナ感染拡大予防に努め、消毒や快適な環境づくりに努め少しずつ、ボランティアの方や新規お試の方など来所して頂けた。 - 事業所玄関前に、コルクボードや、施設内の壁にも毎月季節の応じた飾り付けを行い、ご利用者と一緒に取り組む事が出来た。	- 家族や地域の方が事業所に入りやすい工夫がなされていますか？ ＊おそらく地域の方は契約もしていないのに入っていいとは思わないと思いますので利用契約なくても入っていいと伝えられた方が良いでしょう。 - 日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？ ＊営業していない日は閉まっていますが、中に人がいる時は開いています。 - 掲示板等、季節に合わせた案内や室内空間に取り組まれている。 （デイ開所日以外の様子を確認していないのでわからないとさせて頂きました） - ふれあいホームの建物自体が古民家なので、構造上制約があります。今日までいろいろと工夫をされてきたと思います。古民家には古民家の良さがあります。無理に変えようとせず、古民家ならではの雰囲気も大事かと思います。 - 運営推進会議での意見を踏まえ、カーテンの設置等によるプライバシーへの配慮など改善を頂きました。	- 感染症に注意し、地域の方が来訪しやすい環境作りに努め、快適に過ごして頂ける空間作りに努める。 - 季節を感じて頂けるよう、事業所内を四季に応じたレイアウトを行う。

C. 事業所と地域のかかわり	・感染対策を行いながら、地域の行事に参加させて頂く。 ・地域の方のお困りごとを相談して頂けるよう、認知症安心サポート窓口をお知らせする。	・地域の行事、夕涼み会には職員が準備や機材提供などで参加する事ができました。 ・ご利用者については、夕涼み会には参加されませんでしたが、会場をご案内し準備されている様子や雰囲気を感じて頂き、地域との関わりがと切れないよう対応した。	・利用者や家族は相談があれば出来ますが、地域の方は相談しやすい場所とは思えませんでした 相談してよいのなら告知が必要です。 ・行事やイベントの参加は、これからは参加されることを期待しております。 ・地域の方に知られていますが、開所日はわかりにくいかもしれませんので、わかりやすくする工夫もある方が良いと思います。(open・closeなど) ・地域の方から困りごとなどの相談をされるためには、事業所の知名度を上げることと「通い」がない日の対応が大切だと思います。	・認知症安心サポート窓口をお知らせし、地域の方がお困りごとを相談して頂けるよう努める。 ・地域の方に、行事がある事をお知らせし地域との関わりを深める。 ・地域のサロンや行事に出向いて関りを深め関係性を構築する。 ・ふれあいホームの行事に地域の方が参加できるようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取組み	・感染予防に努め、可能であれば地域の行事に、ご利用者、職員と一緒に参加させて頂く。 ・安心サポート窓口（困りごと相談）である事を、地域の方に周知して頂く為、ふれあいホームの掲示板などでお知らせする。	・夕涼み会では、ご利用者と一緒に参加する事はできなかったが、職員が準備や機材の提供、後片付けなど協力することで地域の方と触れ合う機会となった。 ・掲示板にふれあいホームのパンフレットを掲示させて頂く事ができたが、地域のお困りごとなどの声をお聞きする事はできなかった。	・感染予防に努めながら外出等をされていると思います。 ・安心サポート窓口はふれあいホーム掲示板だけでは不足なので、田原区の配布物に入れる等の方が良いとお思います。 ・上記取り組まれていると思います。 ・(継続)地域内の支援が必要な方について、事業所が関わっていけるよう、今まで以上に事業所のケアマネージャーと地域包括支援センターとの連携を希望します。	地域の行事で、ご利用者が参加したい行事があれば一緒に参加させて頂く。 ・安心サポート窓口（困りごと相談）であることを、地域の方に周知して頂くため、地域やふれあいホームの掲示板などでお知らせする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議で頂いたご意見を職員間で共有し、改善に向けて取り組む。 ・運営推進会議委員のご意見を頂戴し、事業所における課題を検討し改善していく。	・運営推進会議で頂いたご意見を活かし地域にお住いの、独居の方や日中独居の方のご自宅に包括支援センター様と民生児童委員様と一緒に訪問し、ふれあいホームのパンフレットを配布したりお声掛けさせて頂く事で、地域との関係性が出来た。 ・玄関先にコルクボードや地域の掲示板を活用し、ふれあいホームの活動をお知らせする事ができました。 ・運営推進会議で頂いたご意見は職員会議などで報告し職員間で共有した。	・運営推進会議は時間を取って参加しているのでそれなりの意義のあるものにしたと思っています。 ・私の感じた限りでは活かされていると思います。 ・写真等分かりやすく工夫されていると思います。心配な方への声掛けやお出かけの案内など、住民の方の安心にもつながると思います。 ・運営推進会議で出た意見を速やかに実行して頂いています。 ・事業所の課題について、委員に投げかけて頂くのもよいと思います。	・運営推進会議のご意見を頂戴し、事業所における課題を検討し改善に向けて取り組む。
F. 事業所の防災・災害対策	・ふれあいホームの防災避難訓練を年2回実施する。 ・避難訓練の日を地域の方や波多野錦綴織工房様にお知らせし、一緒に訓練に参加して頂く。	・運営推進会議で頂戴した意見やアドバイスを参考に防災避難訓練では、地域の波多野錦綴織工房様と一緒に避難訓練を行い、様々な有事の際にどのように避難するのかを、地域の方と一緒に避難場所や避難経路の確認をする事が出来た。	・事務所の建物は不安ですが訓練はしっかりされていると思います。 ・委員として防災訓練に参加できるようにしたいと思います。業務の都合もありますが、日程を教えてもらえたらと思います。 ・(継続)災害時に備えて、日ごろから地域の方、消防団等と連携をとっていただき、地域の協力が得られる体制を整えてください。	・ふれあいホームの防災避難訓練を年2回実施する。 ・火災時、自然災害マニュアルを玄関に掲示しご利用者や職員が不安なく対応できるようにする。